

辻議員（共産）

令和元年 9 月 25 日
教育長 答弁実録
（教育委員会）

（問）教員の未配置の原因と対策について

教員の未配置については、4月8日には県立学校の代員で2人だが、9月2日には全校種で33人に拡大している。昨年の9月初旬は45人で昨年よりは改善しているが、依然として深刻な状態である。

そこで、教員の未配置の原因と対策を教育長に伺う。

（答）

教員の未配置につきましては、これまで教員の大量退職に見合う教員が採用できなかったことや、少人数指導などによるきめ細かな指導、児童・生徒の多様なニーズに対応するための教員が必要であったことなどが大きな要因であると考えております。

このため、昨年度は採用予定者数を大幅に上回る合格者数を名簿登載したり、退職者に対し、再任用や臨時的任用教員としての継続勤務を繰り返し働きかけたりしたほか、引き続き、あらゆるネットワークを通じて人材確保に努め、未配置の解消に取り組んでいるところでございます。